

森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

活動地に残る遺構（住吉川水系の水車小屋跡地）

住吉川の水車産業

住吉川の急な流れは、水車を回す大きな力を生み出し、古くから街に水車産業を発展させました。特に住吉川の流域には多くの水車小屋が立ち並び、菜種油の油絞、酒造の精米、素麺の製粉などの動力として活用されました。

参考：六甲砂防事務所 六甲の川物語 住吉川物語 (P22~P23・P30~P32)



住吉川上流と住吉の活動地に残る「遺構」を巡ってみました

菊正宗酒造株式会社 活動地

水車小屋跡地には、石組みが残っています。



バス利用の場合
くるくるバス「エクセル東」から
「五助えん堤」を経て徒歩45分程度



兵庫県勤労者山岳連盟 活動地

水車小屋跡地には、水車小屋の水路や滝壺と考えられる石組みなどが残っています。



水車小屋跡(3号地)※



水車小屋跡に残る石組み(3号地)
何に使用したのだろうか？



バス利用の場合
くるくるバス「エクセル東」から
1号地まで徒歩で15分程度

水車小屋跡(説明看板)

一部抜粋
明治末から大正中期の全盛期
には80余棟の水車場が軒を並
べていたが、今では谷あいに
跡を残すのみとなっている。
東灘区役所



水路跡(1号地)※



水車滝壺跡(1号地)※

※ 団体の調べによる立札表記

水車小屋跡地(2号地)



水車滝壺跡 ※
石組みの水路(地下)(2号地)



石臼



石組み、岩が多い場所に
潜んでいます！



水車の滝壺と考えられる跡



中の様子



滝壺の水が排出されたと考えられる跡

森づくり活動は六甲の貴重な歴史を保存し、伝える一役も担っています

未来を守る緑の六甲へ